

私の好きなことば

(115)

茨城大学 学長

太田 寛行



「單なる情熱は醜い。すべての芸術は儀式、すなわち情熱の統制であり、道徳は身体の統制である体操とともに始まる。思想なるものも、思想をつくつた判断を想起することがなければ、全く亡びてしまうであろう。(後略)」

アラン著「デカルト」(桑原武夫・野田又夫 訳、みすず書房、1971年)の紹介文の一節です。学生時代、恩師と共に語り合う本の一つに、デカルトの「方法序説」がありました。それがきっかけで、アランを辿り、この紹介文に出会ったのです。その当時、「單なる情熱は醜い」は衝撃的な言葉でした。教育研究という仕事の中で「情熱の統制」を考えることは今も続いているです。